

されるが、どう受け止めていくか。

今回の計画は4300kwへの大型化であり、住民生活への影響が心配されるがどうか。

事業計画では、民家との距離を1km離すとの事だが、どう考えているのか。

今回の風力建設想定区域はどうなるのか。

**答** 低周波音や風車の機種選定も重要であり、影響を回避又は低減させるように事業者に検討を求めていく。

現在、風力発電による住民の健康被害者は確認できていないが、調査や予測を事業者に働きかけていく。

今回の計画は出力が2〜3倍、風車も大型化するということであり、機種、基数、間隔、住宅への距離等で影響を回避できるか調査を働きかけたい。

現在稼働中のエリア

と、その西側の御坊市から日高町エリアを新

規に計画していると聞いている。



白馬ウインドファーム

# 1 6月2日から3日の梅雨前線に伴う豪雨被害への対応

国の災害認定を受けられるよう  
進め、速やかに補正予算を組む



山本 芳徳 議員

**問**

一部地域では、河川の氾濫による護岸道路、農地に大きな被害が生じた。

国や県で補償対象とならない部分をどうするのか、町の姿勢が問われる。

江川地区では、田植え前の水田に土砂や流木による被害が生じた。また、市川地区でも田植え後の水田に同様の被害が生じた。

現時点での災害状況の把握について、田畑の復旧や今後の対応について問う。また、被災農家に対し災害見舞金や負担金軽減の検討及び河川改修の工事区間延長の要望をされた。

**答** 被害状況の把握については速やかに行う必要があり、6月3日から被災箇所現地調査を行っている。

水田の冠水被害については、条件にもよるが、水稲共済にて補償対象となる場合もある。農作物については、

今回の場合、米に特化した災害見舞金は考えづらいが、今後を見据え、考えておく必要があるのでは時間をいただきたい。

河川改修については、江川は県の管理河川であり、町からも要望する。



上越方の災害現場



今年の梅雨は、全国各地で線状降水帯による被害が発生しています。これも地球温暖化が影響していると思います。

海水の温度上昇により磯焼けが進んでおり、魚目の餌がなくなりつつあり、海の生態系が変わってきているのが確認できました。

地元の漁師と一緒に磯に連れて行ってもらいま

したが、全然取れないと言っよりは、貝が見つからないと言っ方が正しいのかと思います。深場に行かないと駄目で、少し寂しい思いをしました。

そんな中で、今年の8月は、例年より気温が高いと言われていますが、海水の温度が上がると台風発生にも影響してることから、台風への備えも必要であると考えます。

熱中症対策を十分行い、暑さに負けないように頑張っていきたいと思います。

(伊奈 禎胤)